

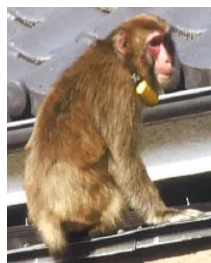
実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7~R9	鹿児島県いちき串木野市	イノシシ、サル	◎	○	○	—

事業概要

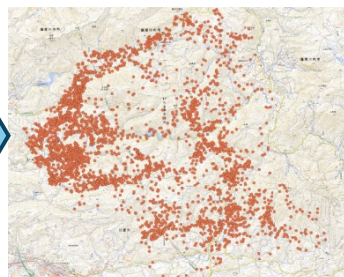
- ・サルのリアルタイムのGPSデータを各集落と共有し、追払い、捕獲に活用。また、GPSデータを精査し、餌場となる放任果樹等の撤去に繋げる
- ・トレイルカメラで撮影したサルの動画を基にディープラーニングを行い、画像認識させることで、ドローンでの自動追尾による追払いを実証
- ・イノシシについては、自動給餌式大型檻わな、センサー式囲い罠による効率的な捕獲を実施

【イメージ】

・GPSデータを活用した追払い



GPS機器設置



GIS活用(行動把握)

基地局を設置し、地域住民とリアルタイムの位置情報共有

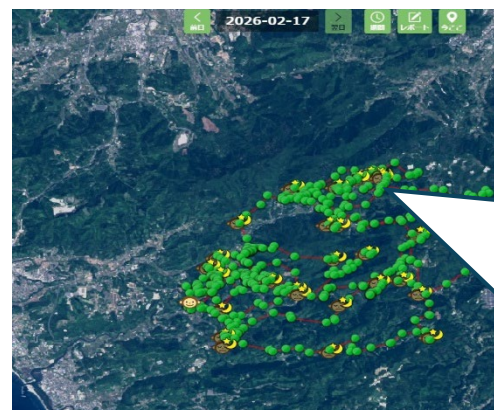


【効率的な追払い】

・トレイルカメラでサルの動画撮影・解析



【データの利用イメージ】



- ・被害の多い地区を可視化
- ・軌跡からサルの出没予測。トレイルカメラを設置して動画データ収集
- ・動画を基にディープラーニング実施、大型捕獲檻の設置場所を選定（サルの通り道や寝床付近）

・前日夜の居場所や当日の軌跡から次の出没場所を予想。地域ぐるみの追払いを実施。

・追払い後の位置情報を確認して、山中まで追いかつたことを確認する。

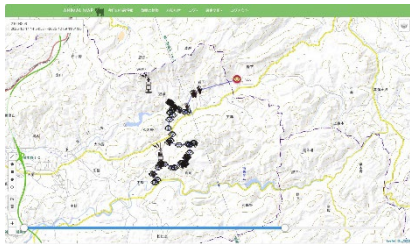



追払い開始

追払い完了

・自動給餌式大型檻わな（サル・イノシシ）



	R7年度実績	次年度以降実施予定
<p>実証内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年にサルの群れの1つにGPS首輪を装着し、データの取得頻度を月1回の設定にしていたが、1ヶ月単位のデータでは実際の対策が後手に回ることが多く、有効な対策にはリアルタイムのデータ取得が必要となっていた。 令和7年11月12日GPS基地局（親機[冠岳地区]・子機[川上地区]）を設置。1時間毎に位置情報を取得し、リアルタイムでサルの行動を把握することが可能となった。 追払いにより、サルの集落内への滞留は減少したが、10日～2週間程度で戻ってくるため、より大人数で繰り返し追払いを実施することが必要となっている。 サル被害が発生している川上地区において住民向け研修会を開催し、群れのGPS情報を確認できるアプリを用いてサルの行動状況を説明したところ、「サルの出没タイミングが予測しやすくなるなら、地域で協力して追払いに取り組みたい」と、積極的な追払いへの住民の意欲向上がみられた。 高低差や樹木等の影響によりGPS受信が困難な地域があるため、基地局（子機）の設置場所を調整中。 群れ捕獲に向け、3月に、GPSデータ（行動圏・パターン）を基に大型捕獲檻を2箇所に設置。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【アニマルマップ上の群れ行動履歴データ画面】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【大型捕獲檻の設置】</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> トレイルカメラの映像を用いたディープラーニング（鹿児島大学工学部との共同研究）によるサルの画像認識を実施。進捗に応じて、ドローンによる自動追い払い実証を検討。 GPS送信機を活用した接近アラート（出没地域に自動でメールで注意喚起）の実装。 出没地点の予測による追払い活動の実施。 より大人数での追払い体制の構築に向け、住民向け説明会・追払い研修会を開催（冠岳地区・川上地区）。 GPSデータを活用した放置果樹等の餌場撤去作業、大型捕獲檻による捕獲。
<p>導入機器 ※交付金活用外の機器を含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> GPS基地局（親機）1基・子機1基、アニマルマップ（サーキットデザイン） 捕獲遠隔操作システム まるみえホカクン5（アイエスイー）2式 大型捕獲檻 楽おりBigs（アイエスイー）2式 センサー式囲い罠 アニマルセンサー-LITE（アイエスイー）2式 	<ul style="list-style-type: none"> 基地局・捕獲檻 ドローン